

# 目次

## 序

### 説

はじめに 8

一 民衆と地域文化 8

二 民衆宗教活動の検証 9

三 本書の構成 10

おわりに 14

8

## 第一章 復活再生の希求

はじめに 18

一 表現としての昼夜中間領域 19

二 鶏形埴輪等の出現 19

三 群馬県浅田3号古墳と鶏形埴輪 21

四 常世の長鳴鳥 23

18

五 神宮式年遷宮と鶏鳴	25
おわりに	28

## 第二章 勾玉の神器化と仏教……………32

はじめに	32
一 人物埴輪の出現	33
二 人物埴輪頸飾具の様相	34
三 古墳副葬品中の玉	36
四 仏教「公伝」の時期と玉に関わる所掌理解	43
おわりに	45

## 第三章 神仏との遭遇……………49

はじめに	49
一 奇瑞としての光明	50
二 『法然上人絵伝』にみる光明場面	54
三 実生活における光明との遭遇	60
おわりに	68

第四章 光彩と来迎……………72

はじめに 72

一 呼称の確認 72

二 群馬県ゆかりの資料 73

三 鏡の示す異界観 82

おわりに 83

第五章 御仏の領域概念……………91

はじめに 91

一 釈迦・薬師・阿弥陀三仏の渡来 92

二 松尾寺の「仏舞」 95

三 金戒光明寺の「猷体供養大祭」 98

四 一心寺の「骨仏」 100

おわりに 103

第六章 縁友のいる場景……………107

はじめに 107

一 「縁友」の記録 107

二 東国の保証システムと妻への委託 114  
おわりに 120

## 第七章 上野聖の足跡……………

はじめに 123  
一 上野聖と納経資料 125  
二 上野国一ノ宮ゆかりの経筒をめぐって 155  
三 赤城山頂大沼の小鳥が鳥経塚の再検討 162  
おわりに 171

## 第八章 発智氏文書の行間……………

はじめに 176  
一 下倉山城跡の発掘調査 177  
二 発智氏文書を読む 186  
三 現地における再検討 188  
おわりに 194

第九章 加賀国前田家初期墳墓の系譜……………199

はじめに 199

一 前田家の出自と祖先墓 200

二 野田山墓所の設計 202

三 前田家の領国支配と白山信仰 208

四 白山社の集中域 210

おわりに 219

第一〇章 村人の寄辺……………222

はじめに 222

一 群馬県多比良天神原遺跡の調査 223

二 多比良諸墓地の悉皆調査 229

三 近世多比良村落の一景観 233

おわりに 234

第十一章 牛ヶ首中山塚調査の記憶……………236

はじめに 236

一 発掘調査記録の復原 237

二 再踏査結果と考察 245

おわりに 248

あとがき.....252

索引 i